

島根県特別職報酬等審議会（令和8年4月28日）の意見概要

- 知事等の働きを考えると、報酬の引き上げが適当と考える。
- 報酬を引き上げて特別職にはしっかりと職責を果たしてもらいたい。
- 報酬を引き上げ、特別職には県民から目指されるような存在になっていただきたい。
- 社会全体で賃上げがなされている状況であり、報酬の引き上げに賛成する。
- 報酬は他県とくらべても著しく高い水準にあるわけではないため、引き上げても良いのではないかと。
- 中東情勢や食料品等の物価上昇など、世の中に不安材料が多く、今後の見通しが不透明な中では、一般職の部長級の給与改定率（+2.39%）で改定した方が良いのではないかと。
- 県民の景況感を鑑みると、一般職の部長級の給与改定率（+2.39%）で改定した方が県民の皆さんにも理解していただけるのではないかと。
- 昨年審議会で決まった一般職の部長級の給与改定率（+2.39%）で今回は良いと考える。
- 財政状況も安定していること、また知事・副知事や議員の担っている職責の大きさを踏まえると、一般職の平均給与改定率（+3.29%）をもとに改定したうえで、しっかりと職責を果たしてもらいたい。
- 知事、副知事と議員とでは役割が異なり、それを報酬等にどう反映させるか判断が難しいため、知事、副知事と議員の報酬等の改定の必要性や改定額については、別々に審議する方法を模索してはどうか。